

松下幸之助記念財団 研究助成

## 研究報告

(MS Word データ送信)

## 【氏名】

KOLODZIEJCZYK-TANAKA ALEKSANDRA MARIA

## 【所属】(助成決定時)

愛知大学・国際中国学研究センター (ICCS)

## 【研究題目】

アジアインフラ投資銀行 (AIIB) が政治経済に与える変革的インパクト  
-グローバル、リージョナル、ナショナル、ローカルの各次元からみる分析-

## 【研究の目的】(400字程度)

本研究は「創発主義的システム論」(emergentist systemism)の理論的枠組みに基づき、国際秩序・地域秩序の形態生成(transformation)を論じるために、以下の二つの分析を行った。① 国際システム・地域システムの構成要素が生成した創発的性質(emergent properties)としての構造・制度・組織が、国際秩序・地域秩序をどの程度まで変革させる可能性があるかを評価すること。② この構成要素が生成した創発的性質としての外部構造(exostructures)が、国際システムと地域システム間で、互いをいかに助長し、あるいは抑制するかを明らかにすること。

上述の理論的枠組みを応用して、本研究ではアジアインフラ投資銀行(AIIB)を国際システム・地域システムの構成要素として取り上げた。そして、AIIBが生成した創発的性質としての構造・制度・組織が、① 国際レベル、リージョナル・レベル(=中央アジア)、ナショナル・レベル(=中国)、ローカル・レベル(=新疆ウイグル自治区)の各秩序をどの程度まで変容させる可能性があるかを分析し、② 国際、中央アジア、中国、新疆ウイグル自治区の各システム間で、互いをいかに助長し、あるいは抑制するかを明らかにする事を目的とした。

## 【研究の内容・方法】(800字程度)

本研究は、以下の三つの部分から構成される。

- 社会科学理論の発展を目指す分析：英文学術雑誌『Journal of Contemporary East Asia Studies』に掲載した学術論文中の「system openness (システムの開放性)」と「levels of social process (社会プロセスのレベル)」のセクションで、社会現象としてのAIIBの分析を行った。
- 国際システム・地域システムにおけるAIIBの変革的インパクトの分析：① 中国のAIIB設立の根拠(人民元国際化の進展、「一帯一路」に沿った各国のインフラ開発への金融支援、過剰資本・過剰設備からの脱出、など)、② 国際金融システムに対するAIIBの挑戦(アジア開発銀行(ADB)における改革の進展、世界銀行(WB)における新たな環境・社会フレームワークの導入、など)、③ 国際開発金融機関(MDBs)との間の協力メカニズム(「グローバル・インフラ・フォーラム」の設立、AIIB-ADB間とAIIB-WB間の協調融資プロジェクト、

中央アジア地域経済協力回廊（CAREC）と中央アジア-南アジア地域電力市場（CESAREM）における AIIB の役割、など）の事例研究を考察し、AIIB が国際システム・地域システムをどの程度まで変容させるかを明らかにした。結果、AIIB と ADB の相互作用、および AIIB-ADB 間と AIIB-WB 間の協調融資プロジェクトに関する学術論文を二本執筆し、かつ「アジア政経学会」で学術報告を行った。

- AIIB が新疆ウイグル自治区の発展に与える影響の分析：新疆は「シルクロード経済ベルト（SREB）」の「核心区」として、中国を中央アジアや南アジアと結びつける存在となった。一方で、中央アジアにおける AIIB の役割は、SREB に沿った各国のインフラ開発への金融支援である。したがって、新疆の開発戦略と中央アジアのインフラ開発は相互依存関係にある。この研究テーマに対する理解を深めるために、人民大学で開催された国際シンポジウムに参加し、SREB の「核心区」としての新疆に関する報告を行い、中国のボーダー・スタディーズの専門家と意見交換を行った。

#### 【結論・考察】（４００字程度）

リーマンショック以降、インフラ投資は世界経済復興の主な手段として広く認識されている。先進国はこのインフラ投資によって構造改革を進め、長期にわたる低成長や高いリスクを回避することができ、同時に発展途上国は経済成長を促進することができる。AIIB の成否によって、国際金融システムの形態生成が生じるか、あるいは形態安定（reproduction）がもたらされる結果となるであろう。中国政府は、人民元国際化の進展、「一帯一路（OBOR）」に沿った各国のインフラ開発への金融支援、過剰資本・過剰設備からの脱出、という三つの目的を達するために AIIB を利用し、内部から国際金融システムを変革しようと試みている。AIIB がもたらす挑戦に対応するために、ADB は改革を進展させ、WB は新たな環境・社会フレームワークを導入し、国際金融システムを安定させて、中国の変革的インパクトを最小限に止めようと試みる。同時に、新旧 MDBs 間の協力プロセスが促進され、新たな「グローバル・インフラ・フォーラム」が形成された。地域レベルでは、AIIB-ADB 間と AIIB-WB 間の協調融資プロジェクトが実施され、アジアの将来を見据えた戦略的協力が促進されている。